様式第20（第７条関係）
（その１）

報 告 年 月 日	
報 告 番 号	（注１）

設備在庫状況変動報告書

原子力規制委員会　殿

住所
氏名　（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）　㊞

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第１項及び国際規制物資の使用等に関する規則第７条第26項の規定により、次のとおり報告します。

工場又は事業所	名　　称		事務上の連絡先（注３）	名　　称	
	所　在　地			所　在　地	
国際規制物資計量管理区域の符号		（注２）		連絡員の氏名	電話番号　（　　）

（その２）

設備在庫状況変動報告書（ECR1）

工場又は事業所 名称		報告期間	（注５）　年　月　日から　年　月　日まで
所在地		報告番号	（注１）
施設 名称	（注４）	扱者氏名	（注６）

工場又は事業所コード (1–4)	施設コード (5–8)	核燃料物質計量管理区域コード (9–12)	報告期間 年 月 日から 年 月 日まで FROM (13–18) TO (19–24)	報告番号 (25–28)	エントリー行数 変動データ (29–30)	エントリー行数 注釈データ (33–34)	扱者氏名 (63–77)	80
（注７）	（注８）	（注２）	（注5）	（注１）	（注９）	（注10）	（注11）	S

国際規制物資計量管理区域コード (1–4)	報告番号 (5–8)	エントリー番号 (9–10)	データ継続コード (11)	在庫状況変動年月日 (12–17)	受払等の核燃料物質計量管理区域コード FROM (18–21)	受払等の核燃料物質計量管理区域コード TO (22–25)	在庫状況変動コード (26–29)	輸入時同定番号 (36–43)	個別同定番号 (44–51)	設備コード (52–55)		供給当事国コード (58–61)	数量 (62–71)	単位 (72)	注釈コード (73)	データ修正 報告番号 (74–77)	データ修正 エントリー番号 (78–79)	80
（注2）	（注1）	（注12）	（注13）	（注14）	（注15）		（注16）	（注17）	（注18）	（注19）		（注20）	（注21）	（注22）	（注23）	（注24）		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T
																		T

頁中　頁

注１　国際規制物資の使用等に関する規則第７条第26項又は第27項の規定に基づき提出する全ての報告書につき、ＡＣＡごとに「０００１」から欠番、重複のない一連の番号を記載すること。
２　様式第17の注２の例により記載すること。
３　様式第３の注２の例により記載すること。
４　様式第４の注２の例により記載すること。
５　様式第17の注５の例により記載すること。
６　様式第４の注６の例により記載すること。
７　様式第４の注７の例により記載すること。
８　様式第４の注８の例により記載すること。
９　様式第４の注９の例により記載すること。
10　様式第４の注10の例により記載すること。
11　様式第４の注11の例により記載すること。
12　様式第４の注12の例により記載すること。
13　既に報告したデータを削除する場合は「Ａ」と記載すること。
14　様式第17の注14の例により記載すること。
15　様式第17の注15の例により記載すること。
16　次表の左欄に掲げる原因又は事項に応じ、それぞれ右欄に掲げる符号を記載すること。

増加又は減少	輸入	ＲＦ
	国内受入れ（国内の他のＡＣＡからの受入れ）	ＲＤ
	その他の増加	ＯＩ
	輸出	ＳＦ
	国内払出し（国内の他のＡＣＡへの払出し）	ＳＤ
	廃棄	ＷＡ
	事故損失	ＬＡ
	その他の減少	ＯＤ
加工事業者等（廃棄事業者を除く。）のみに係る事項	使用の状況への移行	ＩＵ
	保管の状況への移行	ＯＵ

17　計量管理規定で定めた設備を一括して同定する方法により付した符号を記載すること。
18　計量管理規定で定めた設備を個別に同定する方法により付した符号を記載すること。
19　次表の左欄に掲げる設備の区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる符号を記載すること。

原子炉	ＲＥ
原子炉圧力容器	ＰＶ
原子炉内装物	ＲＩ
原子炉燃料交換機	ＦＭ
原子炉制御棒	ＣＲ
原子炉圧力管	ＰＴ
ジルコニウム管	ＺＴ

一次冷却材ポンプ	ＣＰ
照射済燃料要素切断機	ＣＭ
臨界安全タンク	ＳＴ
燃料要素の処理／制御設備	ＰＣ
被覆管に密閉する設備	ＳＥ
燃料要素のその他の設備	ＯＦ
同位体分離のための設備	ＳＩ
重水生産工場設備	ＰＨ
その他の設備（部品）	ＯＥ

20　様式第５の注17の表の左欄に掲げる区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる符号を記載すること。
21　設備の個数を記載すること。
22　「Ｎ」と記載すること。
23　様式第４の注28の例により記載すること。
24　様式第４の注29の例により記載すること。

備考１　この用紙は、日本工業規格Ａ４のつづり込み式とすること。
２　この報告書は、ＡＣＡごとに別葉で作成すること。
３　氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。